

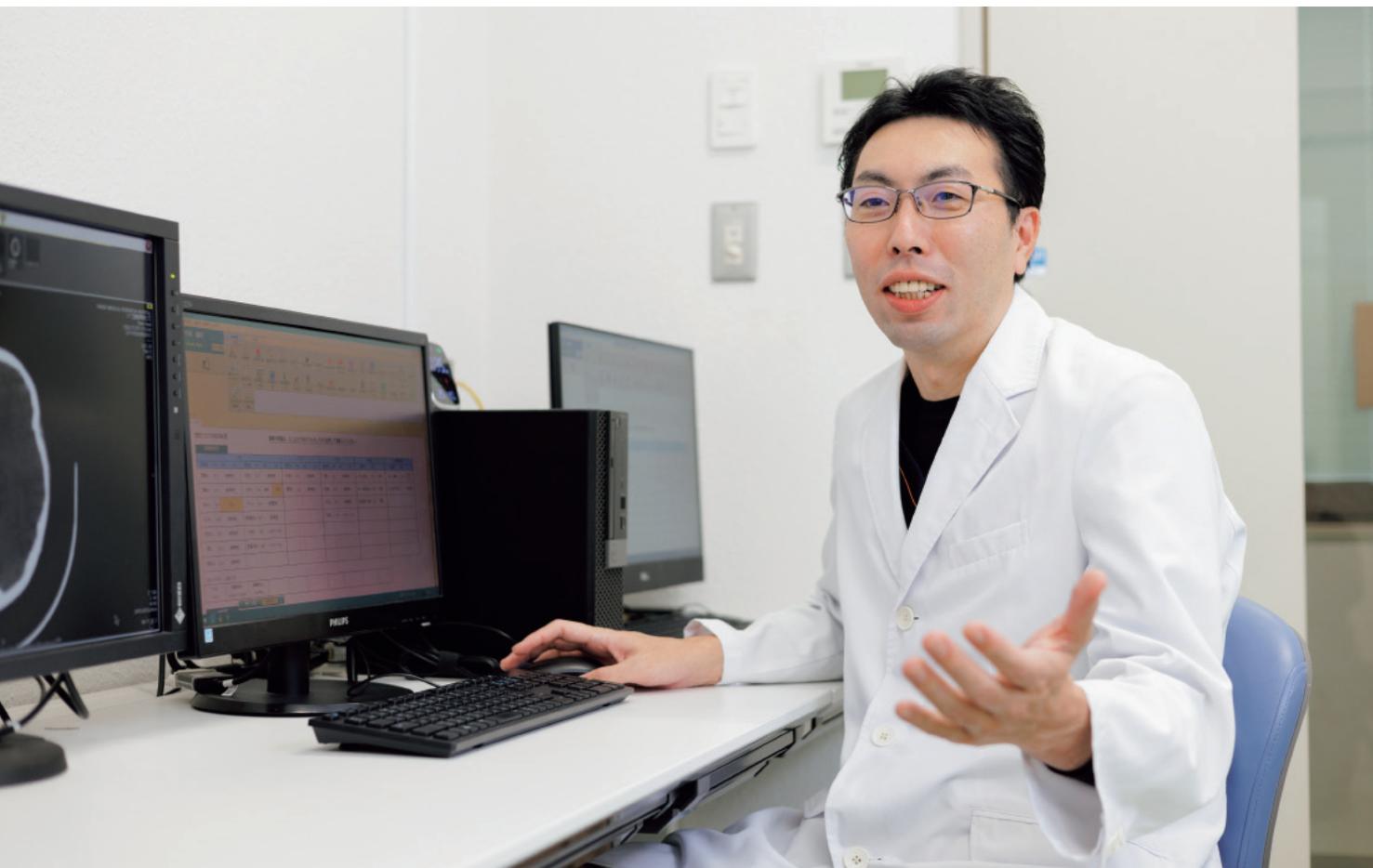
# Harmony

vol.203

2025  
春号

子どもたちの  
豊かな  
こころとからだを  
育てる

# 子どもたちの豊かな ところとからだを育てる



## 今村昌司 いまむら まさし

岡山芳泉高、兵庫医科大卒。岡山済生会総合病院での初期研修、小児科後期研修を経て、2011年から重井医学研究所附属病院で小児科医として、神経発達症診療を中心に小児科全般の診療に従事。

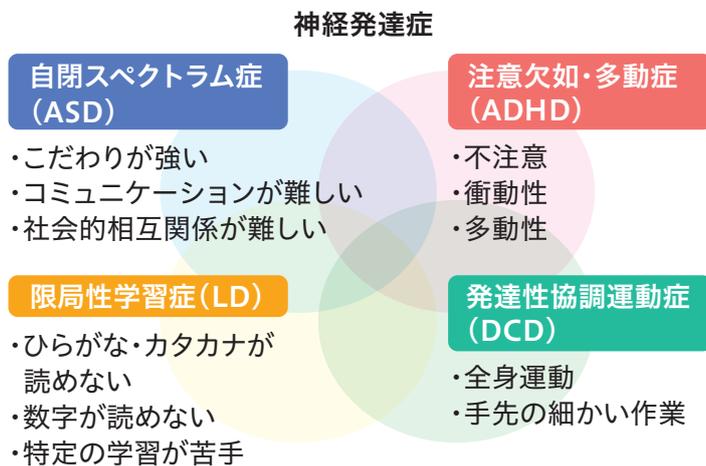
2002年にスタートした小児言語療育外来は、2004年には「小児療育センター」へと発展しました。設立当初は、日本全体で発達障害や特別支援教育の重要性が認識され始めた時期でした。これに伴い、発達障害への支援に対する社会的関心が高まり、当センターもその役割を果たすために取り組んできました。

現在、年間約500名の新規患者が受診し、1日約90名が通院しています。スタッフは小児科医、言語聴覚士、作業療法士、心理師、福祉士など、多職種の専門家が協力して、一人ひとりの子どもに最適なサポートを提供しています。特に、幼児期(3歳)から学童期までの神経発達症の子どもたちに対して、長期的な支援を行い、地域社会に貢献することを目指しています。

「子どもたちの豊かなところとからだを育てる」は、当センターの理念です。

# 神経発達症って？

神経発達症は、2014年5月以前には「発達障害」と呼ばれていましたが、それ以降は「障害」という表現を避け、「症候群」の「症」を使って「神経発達症」と呼ばれるようになりました。当院では、右記の図を用いて簡単に説明しています。



いろいろ名前が付いていますが、特性の一種です。特性が強すぎて困る場合は、診断を付けて園や学校と情報の共有をしましょう。

## 3歳から学童期まで

当センターの特徴は、小児科医を中心に多職種のスタッフが、子どもの心と体の両面を支援している点です。発達に偏りのある子どもたちに対しては、無理に苦手を克服させるのではなく、まずは子どもを受け入れ、支援していくことが重要です。

発達の進みがゆっくりな子どもたちには、自分自

身を受け入れるための時間が必要です。そのため、必要に応じて就学後も療育を継続することが大切です。多くの施設が就学前までの支援にとどまる中、当センターでは医師の判断に基づき、学童期まで支援をおこなっています。子どもたちが安心して自分を受け入れ、成長していける基盤を整えています。

## 特性の理解と支援の重要性

特性がある子どもがすべて神経発達症であるとは限りません。特性を持ちながらも、社会的な場面で適応できていれば、診断が不要な場合も多くあります。もっとも大切なのは、神経発達症というレッテルを貼ることではなく、本人の発達特性を理解し、それに適した環境を整えることです。

人にはそれぞれ個性があります。発達特性を多様性の一部にとらえ、それぞれの特性をどのように生かせるかを考えられる社会にしていくことが大切です。

右図は、神経発達症の簡易チェックリストです。ただし、これに当てはまるからといって、必ずしも神経発達症というわけではありません。チェックリストに該当し、集団生活に支障がある場合など、お子さんの発達について不安があるときは、まず園や学校の先生に相談することをおすすめします。お子さんを見守る目を増やすことが大切です。

### 自閉スペクトラム症チェックリスト

- 視線やアイコンタクトが少ない
- 名前を呼んでも反応が薄い
- 他者と遊ぶことへの興味が乏しい
- 興味が特定の物事に限定される
- 繰り返し行動やルーティンへの強いこだわり
- 言葉の発達が遅れる、または独特な言語表現
- 感覚過敏や鈍感（音や光への過剰反応など）
- 状況に応じた行動や想像力が欠如

### 注意欠如・多動症チェックリスト

- 不注意**
  - 集中が続かない
  - 忘れ物や物をなくすことが多い
  - 課題や作業を順序立てて行えない
  - 指示を最後まで聞かず、途中で気が散る
- 多動性**
  - 手足を動かし続けたり、そわそわする
  - 座っているべき場面で席を立つ
  - 静かに遊べない
- 衝動性**
  - 順番を待てない
  - 他人の話に割り込む
  - 危険な行動を衝動的に行う

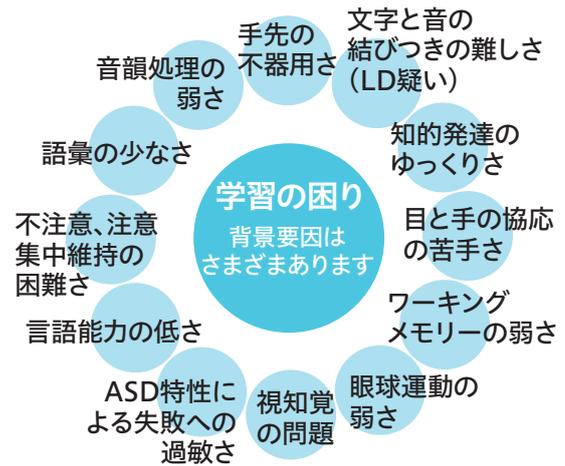
## 2カ所以上で起きていたら受診をおすすめします

自閉スペクトラム症(ASD)の代表的な症状には、対人関係や社会的なやりとりの困難さ、行動や興味の偏り、感覚の過敏や鈍感といった特徴が挙げられます。例えば、場の空気を読み取ることが難しい、微妙なニュアンスの理解が苦手、好きなことに過度に没頭する、音や光、痛みなどの特定の感覚に対して敏感、または鈍感である場合などです。

これらの特徴が家庭や園、学校など2つ以上の場面で見られ、それにより日常生活に大きな困難が生じ、症状が持続している場合には、医療機関の受診をおすすめします。さまざまな検査を実施し、総合的に診断をおこないます。

注意欠陥多動性障害(ADHD)には、「不注意」「多動性」「衝動性」の3つの特性があります。不注意が強いタイプ、多動性・衝動性が強いタイプ、あるいはその両方が強いタイプなど、人によって症状の現れ方はさまざまです。ASDと同様に、家庭や学校など2つ以上の場面で困難が見られ、かつ12歳以前から症状が確認されている場合には、検査をおこない、総合的に診断します。

各疾患に対しては、検査結果を基に、その特性に合った学習方法や合理的配慮を療育の中で提案することもあります。また、自尊心を保ちつつ、生活や学習に前向きに取り組めるよう支援をおこなっています。



学習障害(LD)では、学校での学習に困難を抱えたり、苦手意識を持つ子どもたちの相談が増えています。たとえば、ひらがながなかなか覚えられない、音読が苦手で読み間違いが多い、漢字が覚えにくい、板書を写すのが難しいなど、困りごとは多岐にわたります。原因を明らかにするために検査を実施し、必要に応じて言語能力や視知覚、眼球運動、読み書きのスクリーニングなどをおこない、診断します。

## お子さんの受診って不安ですよ

初めての病院受診では、子どもも保護者も不安や緊張を感じやすいものです。中には多動傾向が強く、駐車場から院内への移動が難しく、ようやく診察室に入っても教材を投げたり、脱走したりして気持ちを表す子どももいます。情緒が不安定で、大人にとっては些細なきっかけで激しく泣いたり、怒ったりすることもあります。

しかし、それは子どもにとっては大切なこだわりであることが多いのです。私たちは、こだわりが表れたときをチャンスと捉え、子どもの気持ちの代弁、周囲が受け入れやすい言動のモデリング、大人の気持ちの言語化、代替案の提示などを通して、気持ちの折り合いをつける練習を根気よく繰り返しています。

このような対応を積み重ねることで、子どもも保

護者も安心して受診を継続できる環境を整えています。そして、数年後には子どもと保護者が自信を持って新しい環境に臨めるような土台作りを目指しています。



# 発達外来初診について

まずは予約を取って受診してみてください。お子さんやご家族の強みをいかし、日常生活における困りごとを軽減する方法をご提案します。受診から診断までの流れは、下図をご参照ください。

小児療育センターは完全予約制です。

当院HPの「発達外来 初診申し込みフォーム」にて予約を受け付けています。

- 1 「発達外来 初診申し込みフォーム」に必要事項を入力・送信。
- 2 当院より患者さまへお電話いたします。
  - ・受診理由(困りや心配な点) ・他院の受診履歴(他機関での発達検査履歴を含む)
  - ・お子さんの名前 ・生年月日、年齢、学年 ・連絡先 ・希望の予約日 など

### 3 初診当日



### 療育開始までの流れ(1例)



## 神経発達症以外にも子どもの発達のことでお悩みの場合にご相談ください

### 低身長症・思春期早発症

「身長がとても低くて気になる」「逆に、うちの子は他の子より身長が高すぎて、発達しすぎでは?」といったご心配のある方は、小学生のうちに診断や治療を開始するのが適切な時期とされています。

身長の伸びに悩んでいるお子さんについては、成長記録とレントゲン1枚で、最終身長の予測が可能です。思春期に入る時期は、男の子でおよそ12歳前後、女の子で11歳前後とされているため、それまでに一度受診されることをおすすめします。



### 起立性調節障害

「なまけている」と誤解されることもあり、つらい思いをしているお子さんも多い疾患に、自律神経の機能が一時的に低下する「起立性調節障害」があります。これは思春期前後の小児に多く見られ、起立時にめまい、動悸、失神などが起こるのが特徴です。

人の体は、立ち上がると重力の影響で血液が

下半身にたまりやすくなります。通常は交感神経の働きにより下半身の血管が収縮し、血液が心臓に戻って血圧が保たれますが、この働きがうまくいかないと脳への血流が減り、さまざまな症状が現れます。

検査によって診断が可能ですので、気になる方はぜひご相談ください。

## 副血液浄化療法センター長 就任の挨拶



内科・糖尿病内科・透析内科  
内科部長  
副血液浄化療法センター長

### 荒木 俊江

この度、副血液浄化療法センター長を拝命いたしました、荒木俊江です。長年にわたり、当院での医療に従事できることを大変光栄に感じております。これまで支えてくださった皆さまに心より感謝申し

上げます。

私自身、医療現場において患者様一人ひとりに最良のケアを提供することに全力を尽くしてきました。生まれ持った性格から時に言動が過剰になることもあります。常に患者様と職員の皆さまのために最善を尽くす所存です。今後も、日々の積み重ねを大切にしながら、透析医療をはじめ、糖尿病、生活習慣病、肥満治療などに取り組んでまいります。

私の目標は、患者様に安心して医療を受けていただき、スタッフ全員が心理的に安全で協力し合える環境を整えることです。この環境こそが、患者様にとってより良い医療の提供につながると信じています。今後も、地域の皆さまと共に歩み、よりよい医療を目指して邁進していきます。皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 新任医師紹介

消化器外科  
外科部長

### 森廣 俊昭



4月より勤務させて頂いております、外科の森廣俊昭と申します。岡山県備前市出身で、岡山大学卒業後は津山中央病院で初期研修を行った後、中四国の病院で主に消化器外科を専門に担当してきました。

今から数年前になりますが、当院に院生時代から週1回の非常勤で来させて頂く機会がありました。そのときも外科は平松先生と櫻間先生のお二人であり、非常に忙しかったことを記憶しています。そのようなご縁もあり、今回こちらに着任させて頂きました。バスキュラーアクセス関連手術および血管内治療(PTA)の総件数は数年前と比較して格段に増えており、忙しさはさらに増していると実感しています。倒れないように頑張ります。

これまで自分が担当してきた消化器外科とは全く異なる分野ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう精進してまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

## 地域連携センター長 就任の挨拶

この度、地域連携センター長を拝命いたしました、藤本さおりです。まず初めに、重要な役割をお任せいただき、大変光栄に感じております。新しい立場で、皆さまとより一層の連携を深めていけることを心より楽しみにしております。

当センターの使命は、地域医療機関との連携を強化し、患者様にとって最適な医療を提供することにあります。前方支援として患者様の早期ニーズに対応し、後方支援として退院後の生活支援を行うことが重要です。また、病棟での治療や退院支援が円滑に進むよう、医療機関の皆さまと緊密に連携し、患者さんが安心して治療を受けられる環境を提

内科・消化器内科  
内科部長  
地域連携センター長



## 藤本 さおり

供してまいります。

今後とも、地域医療の一層の充実を目指し、皆さまと協力し合いながら患者様の回復を支援していく所存です。引き続き、変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじまりました！

## ヘルスケア外来

当院では新たに「プラセンタ注射」を取り入れたヘルスケア外来をスタートいたしました。プラセンタは更年期症状や疲れやすさなど、様々な悩みに効果が期待できると言われています。ホルモンバランスの乱れを整え、健康をサポートします。

更年期の症状が気になる方、日常的に体調がすぐれない方など、ぜひ一度ご相談ください。

### 更年期障害チェックリスト✓

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 顔がほてる      | <input type="checkbox"/> 怒りやすく、イライラする    |
| <input type="checkbox"/> 汗をかきやすい    | <input type="checkbox"/> くよくよしたり、憂うつになる  |
| <input type="checkbox"/> 腰や手足が冷えやすい | <input type="checkbox"/> 頭痛、めまい、吐き気がよくある |
| <input type="checkbox"/> 息切れ・動悸がする  | <input type="checkbox"/> 寝つきが悪い、眠りが浅い    |
| <input type="checkbox"/> 疲れやすい      | <input type="checkbox"/> 肩こり、腰痛、手の痛みがある  |

要 予 約	診察曜日	月	水・金
	診察時間	11:00-12:00	15:00-16:00

※第4金曜日 休診

すこやかに生きるために その41 第1回 5/31(土) 入場無料

受付開始13:30~ 14:00-15:15

## 「太りすぎ」と「やせすぎ」克服は すべての病気を減らす



講師 重井医学研究所附属病院  
院長 真鍋 康二

総合内科専門医 糖尿病専門医 腎臓専門医  
消化器病専門医 肝臓専門医 循環器専門医  
透析専門医 スポーツドクター

リハビリ  
体操 座ってできる体操

今年度も公開講座を西ふれあいセンターで開催します。今年度は全6回の開催を予定しています。

第1回目は院長の真鍋が最新の医学が提案する食事・運動・薬の素晴らしい効果について講演いたします。ご予約はお電話か右の二次元コードから必要事項を入力ください。今年度も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



# 外来診察予定表

診療科		受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	糖尿病 腎臓 肝臓	午前	真鍋 内・肝・糖・腎	大森 内・糖・腎	荒木 内科・糖尿病		十川 内科・糖尿病	真鍋 内・肝・糖・腎
	腎臓		大森 内・糖・腎	瀧 内科・腎臓	福島 腎臓		荒木 内科・糖尿病	
	消化器		福島※ 腎	瀧 内科・腎臓	福島 腎臓		山本 内科・消化器	渡邊 内科
	呼吸器 循環器		藤本※ 内科・消化器 ヘルスケア	西山 消化器	山本 内科・消化器		岡 内科・消化器	福島 腎臓
	一般外来		丸川 内科・呼吸器	近藤 循環器	丸川 内科・呼吸器		岡 内科・消化器	岡 内科・消化器
専門外来 <small>☎要予約</small>	午後	交代医師	真鍋/荒木 糖尿病・腎臓	藤本※ ヘルスケア		交代医師	交代医師	
健診・検診	<small>☎要予約</small>	西山	西山	西山		藤本	西山	
内視鏡検査	上部消化管	午前 <small>☎要予約</small>	岡	山本	藤本		西山	岡山大学医師
	下部消化管	午後 <small>☎要予約</small>	岡	山本	山本		藤本	
小児科	午前	虫明 河野	虫明 今村	河野 今村		虫明 河野	瀧 虫明	
	午後	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師	交代医師	
小児療育	午前 <small>☎要予約</small>	今村/河野	今村/河野/川田	今村/川田		今村/河野	今村/川田	
	午後 <small>☎要予約</small>	今村	今村/川田	今村/河野/川田		今村	今村/川田	
外科	午前	平松	平松	平松		平松	平松	
ダイアライシス アクセス 専門外来 <small>☎要予約</small>	午前/午後	櫻間	櫻間	櫻間		櫻間		
泌尿器科 脳神経内科 <small>☎要予約</small>	午後	交代医師 眼科 第4月曜日13:30~16:00	太田 皮膚科	太田 皮膚科		岡山大学医師 泌尿器科 13:30~16:00	森 脳神経内科	
皮膚科 眼科								

●内：内科 腎：腎臓 肝：肝臓 糖：糖尿病 ※福島正樹への新規ご紹介につきましては予約が必要です

※ヘルスケア外来の診察時間は月11:00~12:00 水・金15:00~16:00 第4金曜日は休診です

●初診の方は火・水の午前中のみです

●初診の方は月・水・金のみです ●時間外でも可能な限り対応いたしますので電話でお問い合わせください

## 受付時間

午前 8:30~11:30

午後 13:30~16:30

再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています

休診日 木曜・日曜・祝日

急病の場合は、あらかじめお問い合わせください

## 交通のご案内

- 「重井附属病院」行き終下車
- 天満屋バスセンターから ▶ 約40分
  - 岡山駅東口バスターミナルから ▶ 約30分
- タクシー
- JR庭瀬駅から ▶ 約10分
  - JR妹尾駅から ▶ 約10分

140台 当院ご利用の方は、無料



社会医療法人 創和会  
**重井医学研究所附属病院**  
〒701-0202 岡山県岡山市南区山田 2117

代表  
TEL 086-282-5311  
FAX 086-282-5345

入退院支援センター(直通)  
TEL 086-282-5360  
FAX 086-282-4447

